



県内でも確認！ 重症熱性血小板減少症候群

令和4年11月30日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和4年第47週分・11月21日～11月27日)

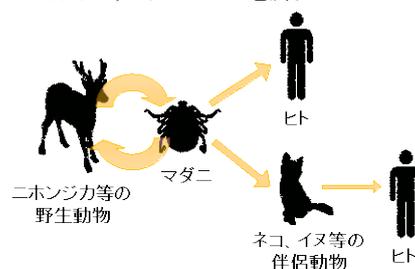
《インフォメーション》

●重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

重症熱性血小板減少症候群 (Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome; 以下 SFTS) は、SFTS ウイルスが原因のマダニ媒介性人獣共通感染症です。患者の多くは、マダニの活動が盛んな春から秋にかけて報告されています。近年、ヒトではマダニからの咬傷だけでなく、SFTS を発症したネコやイヌなどの伴侶動物を介した感染事例も報告されています (右上図)。ヒトに感染すると、5～14 日の潜伏期間の後、発熱や消化器症状 (食欲不振、嘔吐、下痢等) が認められ、血液検査では血小板減少や白血球減少、血清酵素 (AST, ALT, LDH) の上昇が認められます。また、患者の約 10～30% が死に至る致死率の高い感染症です。

全国の患者報告数は増加傾向が続いており、今年の報告数は第 46 週時点で 114 件と、前年の総報告数 (109 件) を上回っています。患者の報告地域は、西日本が中心になっていますが、徐々に東へ広がっています (右下図)。富山県では、今年の 5 月に初めてイヌの SFTS 症例が確認されていますが、今月 22 日に県内初となるヒトでの感染事例が確認されました。SFTS に使用できる治療薬やワクチンは未だありません。このため、予防には野外で活動する際にマダニに咬まれないように肌の露出の少ない服装にすることや、体調不良の動物の体液と接触しないように注意することが重要です。マダニのウイルス保有率は 0～数% と報告されていますので、マダニに咬まれたとしても過剰に不安になる必要はありません。しかし、咬まれた場合には 2 週間程度はご自身の体調変化に気をつけましょう。もし、野外活動や衰弱した動物と接触した 1～2 週間後に発熱等の症状が認められたら、早めに医療機関を受診し、野外活動歴等があることを伝えましょう。

SFTS ウイルスの感染ルート



都道府県別 SFTS 届出状況
(2013～2022 年第 46 週)



《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 7,566 件 (11/22(火)～11/28(月)公表分)
- 二類感染症 結核 1 件 (70 歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (30 歳代、女性、O 型不明、VT1)
- 四類感染症 重症熱性血小板減少症候群 1 件 (60 歳代、女性)
レジオネラ症 1 件 (第 46 週診断分: 70 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 アメーバ赤痢 1 件 (50 歳代、男性、腸管アメーバ症)
梅毒 1 件 (50 歳代、男性、早期顕症梅毒 I 期)

《定点報告の感染症》

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	3.66 (↑)	3.21
2 位	R S ウイルス感染症	1.79 (↑)	0.90
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.45 (↑)	0.31
4 位	ヘルパンギーナ	0.34 (↓)	0.38
5 位	手足口病	0.21 (↓)	0.48
6 位	咽頭結膜熱	0.17 (↑)	0.07
	突発性発しん	0.17 (↓)	0.24



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第47週 令和4年11月21日～令和4年11月27日）

分類	疾患	今週報告分（第47週）						累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					1	1	3	6	34	11	35	89
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1	2	3	4	1	12	22
四類感染症	E型肝炎							1	1				2
	重症熱性血小板減少症候群			1			1			1			1
	つつが虫病							1	1			1	3
	レジオネラ症							5		10	5	17	37
五類感染症	アメーバ赤痢			1			1			2		3	5
	ウイルス性肝炎									3			3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									5	2	12	19
	急性脳炎									4			4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							3		5	1	11	20
	後天性免疫不全症候群									1		1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1		4	5
	侵襲性肺炎球菌感染症									4		5	9
	水痘（入院例）							2	1			3	6
	梅毒					1	1	2		9	4	26	41
	播種性クリプトコックス症											3	3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症											1	1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			1			1			3		
				0.08			0.02						
RSウイルス感染症		1		37	3	11	52	47	89	454	82	463	1,135
		0.25		4.63	0.75	1.10	1.79						
咽頭結膜熱		1	2			2	5	69	39	157	12	119	396
		0.25	0.67			0.20	0.17						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				4		9	13	38	10	145	23	222	438
				0.50		0.90	0.45						
感染性胃腸炎		12	15	27	15	37	106	761	727	1,897	663	2,337	6,385
		3.00	5.00	3.38	3.75	3.70	3.66						
水痘				1		1	2	3	13	55	3	48	122
				0.13		0.10	0.07						
手足口病			1	5			6	81	212	607	92	508	1,500
			0.33	0.63			0.21						
伝染性紅斑								2	1	5	1	7	16
突発性発しん		2	1	2			5	28	29	136	36	111	340
		0.50	0.33	0.25			0.17						
ヘルパンギーナ		2		7		1	10	106	113	102	4	72	397
		0.50		0.88		0.10	0.34						
流行性耳下腺炎							2	1	6	4	2	15	
流行性角結膜炎							10	5	12			27	
細菌性髄膜炎										1	1	2	
無菌性髄膜炎											1	1	
マイコプラズマ肺炎								1	2	1		4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1			1	
インフルエンザによる入院患者（※1）											1	1	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じる場合があります。 ※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。

分類	疾患	11月22日（火）～11月28日（月）公表分						累積報告数（9月27日～）医療機関の所在地ベース																																			
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計																												
新型コロナウイルス感染症	※2	1,034	415	2,146	873	2,542	556※3	7,566	4,529	2,130	9,784	4,629	12,960	2,284※3	36,316																												
		※2 県報道発表資料の公表日に基づく集計						※3 陽性者登録センター分																																			
		※4 県外、居住地非公表分						累積報告数（令和4年1月3日～9月26日）感染者居住地ベース																																			
		11,056						9,713						36,512						13,093						51,566						390※4						122,330					